

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	サンクスラボ・アフタースクール佐賀			公表日	2025年 3月 31日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6		・活動内容によって部屋を分け、十分なスペースを確保しながら安心して過ごせる環境を作っている	指導訓練室は67.49㎡以上あり、一人当たりの面積は2.47㎡を確保しています。今後も安心して過ごせる環境を提供してまいります。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	1	・1日の利用人数が超過しないように調整し、法律上に必要な人員は配置できているが、休日等の支援には人手不足を感じている	法令に基づいた支援体制を整え、適切な運営を行っております。今後も、より充実した支援を提供できるよう努めてまいります。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6		・視覚的に構造化された環境を整えており、スロープや手すりも備え付けられている。トイレに関しても介助できる十分なスペースがある	・今後も実情に応じて検討を行い、環境整備を推進してまいります。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6		・毎日清掃しており清潔を保持できおり、一人当たりのスペースも十分に確保できている	・分かりやすく安心して活動に取り組める環境が整っています。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6		・静養室は、個別のスペースとしても活用できおり、児童からの申し出の際は困り感を汲み取りながら状況に合わせて活用できている	・状況に応じて個別の空間を提供できる体制が整っており、今後も安心して過ごせる環境を提供してまいります。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6		・支援や行事に関しても計画と実行を職員全体で行っており、振り返りや再検討も実施している	職員会議での議題が改善に繋がるように記録しており、今後も誰もが分かりやすいように整備してまいります。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		・保護者向けの評価表を活用し保護者の意向を聞き取りながら、職員間で話し合い、不備等の改善を実行している	・今後も評価などを参考にさせていただきながら、改善に努めてまいります。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		・朝礼、終礼、面談などで意見を出し合い業務改善につなげている	・今後も引き続きご意見などを集約できるよう、定例の会議や面談などを実施してまいります。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	3	・社内による評価を実施している	・第三者による外部評価は導入しておりませんが、毎年社内の専門部署が事業所の評価を行っております。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6		・内部研修だけでなく、外部の研修においても参加しやすいシステムになっている	・社内に研修推進チームがあり、外部研修の周知や内部研修の企画を行っており、今後も職員の資質向上に努めてまいります。
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4	2	・行政の指示に従い作成、公表いたします。	・毎年支援プログラムを作成、公表を行ってまいります。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6		・日々の児童の様子をアセスメントしていきながら、保護者や児童と面談し計画を作成している	・今後も保護者や児童と真摯に向き合い、アセスメントを実施した上で計画を作成してまいります。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6		・職員同士で支援内容や支援プロセスを共有し、計画を作成することができている	・将来を見据え、職員間で適切な情報共有を行っております。今後も最善の利益を考量し継続してまいります。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6		・計画に沿った支援内容を共有し支援にあたっては、理解できないまま支援を行っている場面も見受けられる	・計画内容について認識の齟齬が生じないよう、詳細な情報を周知し、サービスを提供してまいります。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6		・保護者より医療や専門機関からのアセスメントシートを回収しており、事業所内においてはアセスメントを実施していきながら情報収集と共有を行っている。	・今後も関係機関などから情報提供をいただきながら、事業所内においてもポイントを絞ったアセスメントを実施し、実態を把握してまいります。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6		・個別支援計画内に5領域を設定できている	・今後も引き続き、各項目において具体的な支援内容を設定し、サービスを提供してまいります。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6		・一人一人が役割を担いながら、職員間で検討し実行することができている	・今後も職員間で意見などを集約し、より良い活動プログラムを立案してまいります。

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6		・地域で開催される行事等の情報も収集し、様々な活動が実施できるようになっている	・今後も職員だけでなく、児童や保護者の意見も取り入れ、活動が固定化しないよう工夫してまいります。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6		・状況に応じて実施できている	・個別の療育を重視しつつ、将来を見据えた集団スキルの習得も計画的に実施してまいります。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6		・朝礼に参加できていなかったスタッフがその日の活動を全く把握しておらず、連携ができていない日もある	・情報の共有を円滑に行える仕組みを構築し、支援の不備が生じにくい環境を整備してまいります。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点を共有しているか。	6		・終礼時には振り返りができている	・継続して実施し、必要事項などがあれば更新してまいります。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6		・日々の支援記録のほかに活動場所ごとの記録がとれるようになっている	・今後も場面に応じた個々の記録を取り、アセスメントを重視し、根拠に基づいた支援につなげてまいります。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6		・環境設定からモニタリングまで見直しを図る行動ができている。また半年に1度だけでなく、日々の子どもの様子を細かくアセスメントしており、都度モニタリングができている状態である	・上記の行動と同様に、冷静に判断し、必要に応じて適切な見直しを行ってまいります。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	6		・「地域」分野の活動があまりできていないが、サービス提供の優先度を加味したうえで	・段階に応じた活動を設定しており、活動内容に差はありますが、基本的な活動を網羅できるよう準備を進めてまいります。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6		・個々の発達段階を踏まえたうえで実施できている	・今後も自己選択や自己決定などの段階を意識し、サービスを提供してまいります。	
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6		・会議の開催自体が少ない	・会議の開催頻度は少ないですが今後も参加できるよう努めてまいります。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	6		・今後は連携を意識して取り組んでいきたい	・関係機関との連携に課題があるため、行動計画を策定し、連携を強化してまいります。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5	1		・学校の情報に関しては、まずは保護者様から共有してもらうことを前提としているが、不明な点は学校へ確認を取っている。また、下校時間に関してはミスもあったため、スタッフ間で情報の共有を強化していく	・学校や保護者との情報共有や調整はできておりますが、情報共有に不備が発生しているため、職員会議などでの漏れがないか確認いたします。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5	1		・新規児童受け入れの際に実施できた	・利用開始時には情報共有が完了しております。今後も丁寧なサービスを提供できるよう、情報共有を推進してまいります。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5	1		・事業所内での様子を整理し、必要に応じて提供できる準備をしている	・今後も引き続き情報整理を行い、遅滞なく情報提供できるよう準備を進めてまいります。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	1	5		・機会がない	・専門機関との連携はできており、助言や研修を受けることができています。今後も適切に連携できるよう進めてまいります。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		6		・今後検討していく	・集団での活動や不慣れな相手との交流を苦手とする児童もいるため、無理に進めることはできませんが、段階的に慣れていけるよう検討し、交流の機会を提供してまいります。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	1	5		・地域において、子ども部会がない	・佐賀地区には子ども部会が存在せず、参加できませんが部会が設立された際には積極的に参加したいと考えております。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6			・送迎時や連絡帳において情報共有ができています。	・今後も信頼性の高い情報共有を行い、共通理解を深められるよう丁寧な情報発信に努めてまいります。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	5		・今後、検討していく	・ご家族のニーズなどを把握し、勉強会などの研修機会や交流機会を設けてまいります。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6			・契約時に説明している。必要に応じて、その都度説明もしている	・今後も分かりやすい説明を心がけてまいります。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6			・個別支援計画の同意のみならず、必要と思われることが生じた際は、同意を得るようにしている	・今後も定期的な面談に加え、相談などにも柔軟に対応し、多角的な判断と合意形成ができるよう努めてまいります。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6			・面談時に一緒に検討しており、配布時にも補足等を実施し、同意を得ている	・今後も必要な情報を丁寧に共有し、合意形成をしっかりと進めてまいります。

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6		・必要に応じて、電話での対応や事業所内での面談を行ったり、家庭での支援に必要なツールを作成し提供している	・相談などが発生した際には、時間を確保して対応できるよう心がけ、情報を整理した上で支援を実施してまいります。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。		6	・今後検討していく	・保護者間の交流が行えるように保護者会などの場を設けてまいります。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6		・苦情窓口を設置している	・苦情等は発生しておりませんが、些細なことでもお話を伺う姿勢を持ち、迅速に対応できるよう心がけてまいります。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6		・定期的に発信できている	・今後も継続して情報を発信し、子どもたちの成長が感じられるような情報提供に努めてまいります。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6		・鍵付きのロッカーで管理している	・引き続き個人情報の取り扱いには十分注意し、チェック体制を徹底してまいります。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6		・視覚的にわかりやすく情報を提示。保護者に関しては、伝える内容、時期等も考慮しながら伝えることができています	・個々の状況に合わせた配慮を行い、意思疎通を図ってまいります。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		6	・今後検討していく	・実施する内容を検討し、地域との交流が図れるように努めます。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6		・各マニュアルの設定ができており、いつでも閲覧できる状態である	・周知や訓練は実施できております。実情に応じて訓練内容の修正を検討し、対応ができる体制を整えてまいります。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6		・計画の策定もできており、年2回の訓練も実施できている	・非常災害などに備えた訓練は実施できており、今後も実情に応じた対応ができるよう備えてまいります。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6		・利用開始前に情報収集ができています。また対応マニュアルも掲示している	・利用開始時だけでなく、定期的に情報を更新できるよう、情報収集と整理に努めてまいります。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	2	4	・利用開始前に情報収集ができています。指示書を提出してもらうほどの重度なアレルギー対象者がおらず、保護者との状況共有のみである	・利用開始時だけでなく、定期的に情報を更新できるよう、情報収集と整理に努めてまいります。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	1	・計画は作成してあり、現在はチェック中である	・安全計画に関する行動を適切に整理し、計画に沿って実施できるよう進めてまいります。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	1	・取り組み内容については今後周知していく	・情報を整理し、定期的な面談時などに周知できるよう努めてまいります。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6		・朝礼、終礼時に共有できるようになっている	・今後も密に情報共有を行い、再発防止に向けた対策を検討してまいります。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6		・毎年、全職員が参加できている	・虐待防止に関する意識向上を図れるよう、研修などを進めてまいります。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6		・対象となるものが存在しない	・対象となる児童の利用はありませんが研修を通じて身体拘束に関する知識を深めてまいります。	